

JIS

クロム鉱石－クロム定量方法

JIS M 8262 : 2006

(JFA/JSA)

平成 18 年 5 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|--------------|
| (委員長) | 木原 諄 二 | 日本大学 |
| (委員) | 大河内 春 乃 | 東京理科大学 |
| | 大橋 守 | 社団法人日本鉄鋼連盟 |
| | 小澤 宏 一 | JFE スチール株式会社 |
| | 鍛地 楯 生 | 財団法人日本海事協会 |
| | 加藤 碩 | ステンレス協会 |
| | 國府 勝 郎 | 首都大学東京 |
| | 近藤 良太郎 | 社団法人日本電機工業会 |
| | 佐久間 健 人 | 高知工科大学 |
| | 中島 將 文 | 社団法人日本鉄道施設協会 |
| | 長瀬 忍 | 高圧ガス保安協会 |
| | 福永 規 | 住友金属工業株式会社 |
| | 本田 知 己 | 新日本製鐵株式会社 |
| | 山内 学 | 株式会社神戸製鋼所 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 37.8.1 改正：平成 18.5.20

官 報 公 示：平成 18.5.22

原 案 作 成 者：日本フェロアロイ協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-5645-7181)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本フェロアロイ協会(JFA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS M 8262:1993** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 6331:1983, Chromium ores and concentrates—Determination of chromium content—Titrimetric method** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS M 8262 には、次に示す附属書がある。

附属書（参考）**JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

| | ページ |
|---|-----|
| 序文..... | 1 |
| 1. 適用範囲..... | 1 |
| 2. 引用規格..... | 1 |
| 3. 一般事項..... | 1 |
| 4. 定量方法..... | 1 |
| 5. ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化硫酸アンモニウム鉄(Ⅱ)滴定法..... | 1 |
| 5.1 要旨..... | 2 |
| 5.2 試薬..... | 2 |
| 5.3 装置及び器具..... | 2 |
| 5.4 試料はかりとり量..... | 2 |
| 5.5 操作..... | 3 |
| 5.6 計算..... | 4 |
| 5.7 許容差..... | 6 |
| 附属書(参考) JIS と対応する国際規格との対比表..... | 8 |
| 解 説..... | 12 |

クロム鉱石—クロム定量方法

Chromium ores—Determination of chromium content

序文 この規格は、1983年に第1版として発行された **ISO 6331**, Chromium ores and concentrates—Determination of chromium content—Titrimetric method を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書（参考）**に示す。

1. 適用範囲 この規格は、クロム鉱石中のクロム定量方法について規定する。

備考1. クロム鉱石中のクロム含有率は、三酸化二クロム含有率として表示することができる。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21**に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 6331:1983, Chromium ores and concentrates—Determination of chromium content—Titrimetric method (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 8001 試薬試験方法通則

JIS M 8261 クロム鉱石—化学分析方法—通則

備考 **ISO 6629:1981**, Chromium ores and concentrates—Methods of chemical analysis—General instructions からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

3. 一般事項 定量方法に共通な一般事項は、**JIS M 8261**による。

4. 定量方法 クロム鉱石中のクロムの定量方法及び適用含有率範囲は、**表1**による。

表1 クロムの定量方法及び適用含有率範囲

| 定量方法 | 適用含有率範囲 % (質量分率) |
|--------------------------------------|---------------------|
| ペルオキソ二硫酸アンモニウム酸化 硫酸アンモニウム鉄(II)滴定法 | 7以上 40以下 |

5. ペルオキソ二硫酸アンモニウム酸化硫酸アンモニウム鉄(II)滴定法